かまくら駅前 蔵書室

2015〜2016
この一年のご報告です

かまくら駅前蔵書室（以下 KAMAZOU）会員のみなさま。

おかげさまでオープンから一年が経過しました。

ここまで運営してくることができたのもみなさんのおかげです。

心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

ここに一年間の活動などをまとめましたのでご覧ください。

KAMAZOU は「みんなでつくっていく図書館」です。

よろしくお願いいたします。これからもどうぞご一緒に。

かまくら駅前蔵書室
鈴木章夫

クラウドファンディングで開業資金調達

KAMAZOU はクラウドファンディング（インターネットで資金の支援を募る仕組み）で開業資金の一部を調達。40 日間で全国 109 人の方から 848,000 円をご支援いただきました。
みなさまに、あらためて心よりお礼申し上げます。まことにありがとうございました。
経緯や経過、報告などは以下の「レディーフォー？」のサイトをご覧ください。
https://readyfor.jp/projects/kamakurabooks

粛々とオープン

クラウドファンディングの話題などを新聞でも取り上げていただきましたが、2016 年 8 月 1 日のオープンはとても静かでゆるやかなスタートとなりました。8 月の 1 日平均来室者数はまだ 3.77 人。 1 カ月で 14 人の方が会員になってくださいました。

会員は 1 年間で 141 人

9 月 14 人、10 月 7 人、11 月 8 人、12 月 4 人、2016 年 1 月 9 人。予測よりも低調に推移していたため、1 階の入口付近でチラシ配布なども行いました。
しかし 2 月以降は「～さんに聞いて」「～さんの紹介で」という口コミで来室される方も増え、毎月 10 人以上が登録してくださり、1 年間で会員数は 141 人に。みなさん、ご登録ありがとうございました。
そして今年の 7 月中には早くも 22 人の方に翌年の更新手続きをしていただきました。

会員プロフィール

会員は会社員や主婦を中心に、学生、自営業、税理士、建築士、研究者、市民活動家、イラストレーター、ライター、カメラマン、ラジオパーソナリティー、ソムリエ、飲食店店主、女優、気象予報士、僧侶、民間宇宙飛行士、学芸員、作家、翻訳家、大学教授などさまざま。普段の生活では決して出会うことのない人と人がリアルに出会い、年齢や性別、職業などを超えてどんどん輪を広げています。
＜居住地＞鎌倉市内 60%　鎌倉市外 40%　※県外では東京、千葉、愛知、海外在住の方も
＜男女＞男性 52%　女性 48%
＜平均年齢＞42.9 歳（14 歳～79 歳）

来室者数

８月～2016 年１月までは 102 人～171 人で１日平均来室者数は 3.8～7.1 人。１日 10 人を超えたのは３月以降でした。来室者が 1,000 人を超えたのは２月。2,000 人を超えたのは６月２日（木）19 時でした。１年間で延べ 2638 人の方にご来室いただきました。
利用回数のトップは 197 回（入会９月）。２位が 137 回（同８月）、以下 77 回（同８月）、68 回（同３月）、66 回（同９月）、64 回（同９月）と続きます。
平均利用回数は 13 回ですので、（入会時期が 0～12 カ月と異なりますが）１人が最低でも１カ月に１回以上はお使いいただいていることになります。
尚、来室者のうち 68%が会員、32%が見学者か会員の同伴者でした。

見学者

見学は１階の案内を見た方、メディアを見た方、会員などの紹介でいらした方など。図書館関係者（都内、県内、中部、関西）、書店経営者（県内、静岡県）も来室くださいました。

メディア掲載

日本経済新聞、朝日新聞、神奈川新聞、鎌倉朝日、タウンニュース、湘南経済新聞、湘南スタイルマガジン、OZ マガジン、カガリ火、tvk「カナフル TV」、J-COM、Tokyo-MX「ぷらちなクラブ」、エフエムヨコハマ「イブニング・バズ」など多くのメディアで紹介していただきました。

発信

KAMAZOU の情報発信は、ホームページやフェイスブックページを活用。また、メールマガジンを不定期に 22 号まで配信しました。

フェイスブックページへの「いいね！」の数は（広告を使ずに）1 年間で 950 超に。

フェイスブックの「KAMAZOU メンバーズ」では会員の紹介も行っています。

贈書

入会金代わりにいただく「贈書」も 1 年間で 800 冊を超えました。「一人 1 冊以上」とお願いしていますが、一人で数十冊「贈書」くださった方もたくさん。市内の出版社さん 6 社からも「贈書」いただきました。
また「会員にはなれないけれど寄付します」という方、「父が作家（鎌倉文士）だった」方、「父が作家から新刊が出るたびに献本いただいていた（サイン入り）」方など、さまざまな方からも「贈書」いただき、今では手に入らない本、珍しい本、貴重な本も増えました。

また、著作物を出版されている会員さんからも「贈書」いただき、コーナーを設置しました。来室すれば、そんな作家さんや著作者に出会うチャンスもある図書館です。

イベント、ワークショップ

主に営業時間前の午前中に KAMAZOU 主催のイベントを開いてきました。

■鎌倉ブックレビュー「ビブリオバトルらず」（毎月）
　おすすめの本をバトらないで紹介し合うゆるい読書会で 10 回開催しました。

■読書の秋まつり（2015.10）
　読書週間にあわせ、ライブや絵本「ロケット王子」トークセッションを行いました。

■読書にぴったりのサブレを探れ 2015（2015.10 月）
　鎌倉市内のサブレ（サブレー）の中から読書に最適な 1 枚を投票で決めました。

■みんなの鎌倉写真帖（２月）（2016.2）
　鎌倉市内に 30 本残っている丸ポストを８人で手分けして撮影、ハガキを投函して 1 冊のフォトブックをつくりました。

■浅田先生、大いに語る（2016.1 月、3 月、5 月、6 月）
　神奈川新聞 OB で歴史研究家の浅田勁さん（会員）による歴史セミナーです。

■「かまくらパン」をきいてたべる会（2016.2 月）
　鎌倉のベーカリー22 店舗が掲載されている書籍「かまくらパン」。その作り手にインタビューし、セレクトしてもらったパンを参加者全員で試食しました。

■フリーマガジン「海の近く」の話を聞いて特集のサンドイッチをたべる会（2016.6 月）
　フリー誌とは思えないクオリティーの「海の近く」の編集部を招き、発行の背景や取材方法、制作過程などを聞き、７月号の表紙のサンドイッチを参加者で食べました。

■ワークショップのためのワークショップ（2016.6 月、7 月）
　ワークショップを始めたい人の背中を押す講座。好評で秋には湘南 T-SITE でも開催。

■会員限定交流会「カマホンアレイ」（毎月）
　会員限定の飲食持ち寄り交流会。ふだん会えない会員同士が一堂に介してつながる場。
　※カマホンアレイとは「鎌倉の本の小路」という意味です。

貸し切りプラン

午前中の空き時間（10 時～12 時）を会員・一般に貸し出しています。これを利用したイベント、特に会員さんが主催するワークショップが増えてきました。
会員さんが主催するワークショップに参加して刺激を受け自分もという流れも多く、上記の「ワークショップのためのワークショップ」はこうした要望を受け開催したものです。

■ワタシと働き方をみつめる鎌倉女子ツアー
■はじめてのヴァイオリン体験教室
■消しゴムはんこパターンで作るかまくら千代紙（３回）←会員主催
■ストレスケア講座とアロマオイルづくり（３月）←会員主催
■鳩サブレーそっくりさん選抜総選挙 2016（６月）←会員主催
■KAMAZOU ねこ部（６月）←会員主催
■ハーブビネガーづくり（６月）　←会員主催
■はじめての水彩画ワークショップ（７月）←会員主催
■蛇腹式オリジナルフォトブックづくり（７月）←会員主催

ギャラリー

会員さんには室内の壁をギャラリー代わりに無料で使っていただいています。
これまでに開催したミニ展示会（個展）は以下の通りです。
■「Facebook 江ノ電が好き」写真展アフター展示（８月）
■矢野元晴水彩画個展「和の心」（２月）
■森川孝郎ミニ写真展「鎌倉桜八景」（３月）
■監物拓プチ写真展「Rendez-Vous a Nice」（６月）
　※勝手に祝 鎌倉市・ニース市姉妹都市提携 50 周年
■髙橋徹ミニ写真展「大町まつり」（７月）

こうして１年を振り返ると、KAMAZOU はやはり「みんなでつくっていく図書館」であることがよくわかりました。
鎌倉の本を媒介に集った会員のみなさんが、それぞれの使い方で、それぞれの過ごし方で、これまでにない空間をつくり出してくださっています。
来年の報告では、きっとまた新たな動きが記録されるに違いありません。そして、それが KAMAZOU の価値をどんどん高めてくれているはずです。
これからも一緒に KAMAZOU を、鎌倉を、もっともっと面白くしていきましょう。

（2016 年 7 月 31 日）